

Catch up 滋賀医大 : 滋賀医大ニュースレター
第17号

著者	滋賀医科大学
発行年	2012-01-12
URL	http://hdl.handle.net/10422/9109

Catch Up 滋賀医大

2012.1.12 第17号



マレーシア国民大学との学術交流協定を締結

H23.11.10

平成23年11月10日(木)、本学にマレーシア国民大学 レイモンド医学部長らを迎え、学術交流に関する協約を締結しました。

アジアでは、中国の5カ所、ベトナムの2カ所と交流協定を結んでおり、今回のマレーシア国民大学との締結により8カ所となりました。

調印式に先立ち、今後の学術交流の促進のため、大学紹介を兼ねたブ

レゼンテーションを行っていただきました。このほか、本学の動物生命科学研究センター、MR 医学総合研究センター、分子神経科学研究センター及び付属病院を見学いただくなど、種々の交流を通じて友好を深めることができました。

今後は、この交流協定のもとに両校の交流が活発に行われ、教育、研究、診療が発展することが期待されます。



記念撮影

ホスピタルローソンがオープンしました！

H23.12.12



オープンセレモニーの様子

12月12日(月)附属病院1階にコンビニエンスストア:ホスピタルローソンがオープンしました。

○店舗・品揃え

広さはこれまでの売店の約2倍となり、通路は車椅子での買物も可能な幅が確保され、買い回りし易いよう商品の配置、動線が確保されています。品揃えも豊富で、病院スタッフのみなさんのために新鮮な商品を提供する等利用者のニーズを見据えた品揃えをしています。

○各種サービス

各種サービス(ATM、宅配便取次、切手・印紙販売、ゆうメール、公共料金支払等)も充実し、利用者の方の利便性も高いものとなっています。

○電話番号

077-548-3609

○営業時間

午前7時～午後10時
年中無休

「研究活動推進優秀者賞」の授賞式が行われました。

H23.10.03

本年度より「研究活動推進優秀者賞」が新設され、毎年10月1日の創立記念日に授賞式を執り行うこととなりました。初回となる今回は、外科学講座の谷徹教授が受賞され、表彰状と今後の研究活動を更に発展させるための研究活動費が授与されました。

この賞は、研究活動の推進を図る競争的資金の獲得等に多大な貢献をし

た教員に対して、その功績を讃えて送られる賞であり、谷教授の平成20～22年度の功績が高く評価されました。

馬場学長より谷教授へ労いの言葉がかけられ、また今後の研究活動の更なる発展を期待するとの訓辞が述べられました。



受賞した谷教授ら

平成23年度第1回滋賀医科大学学位授与式

H23.10.03



馬場学長による告辞



授与式の様子

平成23年度第1回滋賀医科大学学位授与式が10月3日(月)に本学管理棟大会議室で挙行政され、課程博士4名、論文博士5名、修士1名にそれぞれ学位記が授与されました。

馬場学長は、「これから社会のリーダーとして責任ある立場に立って、これまで身につけた思考法や専門的知識、それに技術を十分活用して、ご活躍され、社会の医療と福祉の発展に貢献されますことを期待します」と告辞を述べました。

平成23年度滋賀医科大学医学部医学科第2年次後期学士編入学並びに平成23年度秋季大学院医学系研究科博士課程・修士課程入学宣誓式

H23.10.03

平成23年度滋賀医科大学医学部医学科第2年次後期学士編入学並びに秋季大学院医学系研究科博士課程・修士課程入学宣誓式が10月3日(月)に本学管理棟大会議室で挙行政され、医学科学生17名、大学院生(博士課程)6名、大学院生(修士課程)3名が入学しました。

馬場学長は、医学科入学生に対しては「初心を忘れることなく、「高い志」を

持ち続け、信頼される医療人として本学で成長され、地域にあるいは世界にその成果を還元してくれることを祈念しています。」と、大学院入学生に対しては「温故知新」を忘れずに、自分の研究分野の文献を詳しく調べ、得られた実験データについて、指導者や同僚との議論を得て、さらに自分の工夫を加え、新しい知見をつけ加え、少しでも医療の道に生かせる努力をして下さい。」とそれぞれ激励しました。



入学生宣誓

第37回若鮎祭開催に向けての衛生講習会を実施

H23.10.07

衛生担当の学生の主導による
手洗い講習

本学では、例年、若鮎祭実行委員会の主催で、模擬店の調理担当者を対象に衛生講習会を実施しています。受講は対象となる者すべてに義務づけられており、この講習を受けなければ調理を担当することができません。

今年は10月7日の6時10分から、臨床講義棟臨床講義室3において、調理担当の学生の他、毎年コーヒ

一店を出店されている医学科後援会の方々などの参加もあり、合計361名の出席のもと、保健管理センター小川講師による講習が行われました。

参加者一同、真剣に耳を傾け、また手洗い方法講習では、衛生担当の学生の主導のもと、みな真剣に練習していました。

糖尿病専門分野看護師育成事業フォローアップ研修を実施

H23.10.07

滋賀県より委託を受け、当大学で糖尿病専門分野看護師育成研修を実施しています。県内の病院から糖尿病診療に携わる看護師が研修に参加し、40日間の講義・演習・実習のプログラムで、糖尿病についての学びを深めています。昨年度受講した15名の研修修了生が各施設に戻ってからの活動を発表しあう報告会を10月7日に

実施しました。

どの修了生も自分の病院で、他の看護師にも糖尿病の知識を広めて活動を積極的に行っている様子が報告されました。報告会の終了時に修了バッヂも渡されました。このバッヂをつけている看護師は滋賀県での糖尿病看護における質の高い看護師の印です。



報告会の様子

第27回滋賀医科大学公開講座が始まりました

H23.10.13



1日目(10/13)服部副学長



1日目(10/13)質問タイム

10月13日(木)に、第27回滋賀医科大学公開講座が草津市立まちづくりセンター(3階会議室)を会場として始まりました。

次のとおり毎週木曜日3週連続3日間の開催で、計5名の先生に講師を務めていただき、時間は、毎回、午後6時～午後8時での開催です。

今回はメインテーマは設定せず、講師担当の先生が、それぞれの専門分野からテーマを設定し、講演・解説していただく方式としました。

・10月13日(木)[1日目]

病理学講座 向所 賢一 准教授

「胃食道逆流症って何！」

臨床検査医学講座 岡部 英俊 教授

「癌の病理診断について」

・10月20日(木)[2日目]

地域周産期医療学講座

高橋 健太郎 特任教授

「お産と子宮がん ―自分の遺伝子を次世代に残す―」

・10月27日(木)[3日目]

臨床看護学講座(小児)

桑田 弘美 教授

白坂 真紀 助教

「子育て・孫育てとしつけ」

立命館守山高校との高大連携による初年度の講義が終了

H23.10.14

昨年(平成22年)12月に協定を締結した立命館守山高校との高大連携事業による本学での初めての講義(医療基礎セミナー)が5月にスタート、計8回シリーズ(他に、夏休み期間中、一日利用しての講義・実習・病院見学が1回あり)で実施され、10月14日(金)に最終日を迎えました。

服部副学長と立命館守山高校の中村副校長から、この講義を今後の勉学や将来に活かしてもらいたいと、改めて激励のご挨拶をいただいた後、看護学科・臨床看護学講座(小児)の桑

田教授に、「看護師の使命と働きがい」と題した講義を実施いただきました。

フロンティアサイエンスコースの生徒で、医学や看護学に興味を持っているとのことで、チーム医療が叫ばれる中、希望している各々の立場から、看護職の話題に真剣に耳を傾けていました。

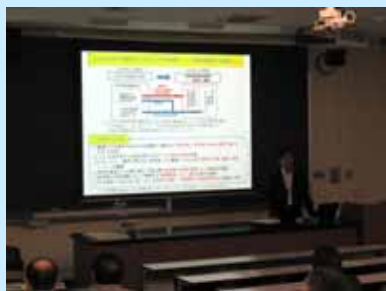
今後は、初年度のこの連続講義の結果を踏まえ、更に充実した来年度の高大連携事業の実施に向けて、本学と母校とで協議がなされる予定です。



講義中の様子

「平成24年度科学研究費補助金説明会」を開催

H23.10.11,18



日本学術振興会吉田課長代理による講演

科学研究費補助金説明会第1回を平成23年10月11日(火)に、第2回を10月18日(火)に開催しました。第1回説明会では、競争的資金対策委員会委員の松浦教授による「研究計画調書の作成について」、福井研究協力課長による「科学研究費補助金」、富岡研究協力課長補佐による「公的研究費の不正防止について」の説明がありました。

また、第2回説明会では、日本学術振興会から吉田正男研究助成第一課課長代理を招き、「科研費」の最近の動向と題し、基金化に伴う手続き

や研究費執行の変更点、公募から審査に至る流れ、審査方法、使用ルールの見直し等について、詳細な講演が行われました。

講演後の質疑応答では、受講者からの次年度の採択率について等の熱心な質問に対し、明快な回答を頂き、今後の申請に対し、理解を深めることができました。

最後に、学長から、科学研究費補助金へ多数応募することにより、大学研究活動の活性化が図られる旨の発言がありました。

「劇団かいつぶり」のメンバーが5A病棟の子供たちと交流

H23.10.19

10月19日(水)の午後に「劇団かいつぶり」のメンバー6人が5A病棟を訪れ、手品や演劇を披露され入院中の子供たちと交流されました。

「劇団かいつぶり」は滋賀県を中心に活躍する劇団で、年に数回の自主公演や、公民館や病院などを訪問され出前公演を行っておられます。

当日は瀬田東小学校の院内学級の子供たちの前で、お手玉を使った手品や、朗読演劇「歌時計」を熱演していただきました。

子供たちは、普段目にしない生の演劇に、目を輝かせながら見入り、中でも簡単な手品の種明かしに興味を示していました。



院内学級の様子



朗読演劇「歌時計」の様子

第27回滋賀医科大学公開講座(2日目)を開催

H23.10.20

10月20日(木)に、第27回滋賀医科大学公開講座(10月13日開始、毎週木曜日、3週連続3日間)の2日目を草津市立まちづくりセンターを会場に開催しました。

今回は、地域周産期医療学講座の高橋 健太郎 特任教授に講師を担当いただき、「お産と子宮がんー自分の遺伝子を次世代に残すー」と題し、前半はお産を中心に安全・安心なお産などについて、後半は子宮(頸)がんを中心にワクチン接種とがん検診の両方の必要性などについて、それぞれ

見やすいスライド提示にわかりやすい解説を加えて講演いただきました。

受講の方は少人数ではありましたが、皆さん、熱心に聴講され、今日聴いた話を早速、家族に話してあげられる、とおっしゃる方もお見えになりました。

次回3日目は、看護学科・臨床看護学講座(小児)の桑田 教授と白坂 助教のお二人を講師に、「子育て・孫育てとしつけ」をテーマとして、10月27日(木)に開催します。



講演の様子

「リンパ浮腫患者の交流会」を開催

H23.10.21



交流会の様子

10月21日「リンパ浮腫患者の交流会」を開催しました。

看護師による「リンパ浮腫外来」では、主に乳がんや子宮がんなど、がんの手術や放射線治療の後、リンパ系の流れが障害されて起こる手足のむくみ「リンパ浮腫」に悩む患者さんを対象に診療しています。

普段は同じような浮腫の人と出会う機会も少なく、患者さんは孤立感も感じています。そこで、同じ浮腫を抱え

る者どうしがセルフケアの大変さの共有や日常生活上の工夫などの体験を分かち合う機会をもつことで、今後のセルフケア意欲の継続の一助となると考え、初めて交流会を開催することにしました。

患者さん、家族の方40名参加され、長年の苦労や、体験談、ケアの方法など話がつきず、思いを共有し交流を深められました。

学園祭に向けて学生実行委員会による中庭池掃除を実施

H23.10.21

若鮎祭は中庭がメイン会場となり、また、水上特設ステージを設置するため、例年、学生実行委員会による中庭池掃除を実施していますが、今年も10月21日(金)の夕方に実施しました。

今年は、8月に施設課職員の方が池の清掃をされたことにより、学生の清掃がスムーズに行えました。

これにより学園祭の準備もいよいよ本格的となります。

なお、27日(木)に水上特設ステージ設置のトラックが、テニスコート前の通路から臨床研究棟北側の通路を通ります。路上駐車等は絶対にされないようご協力願います。また、31日(月)の撤去も同様にご協力願います。



柏木病院長の挨拶

第5回 基礎・臨床融合の学内共同研究発表会」を開催

H23.10.24



会場の全体の様子

10月13日(木)に、第27回滋賀医科大学公開講座が草津市立まちづくりセンター(3階会議室)を会場として始まりました。

次のとおり毎週木曜日3週連続3日間の開催で、計5名の先生に講師を務めていただき、時間は、毎回、午後6時～午後8時での開催です。

今回はメインテーマは設定せず、講師担当の先生が、それぞれの専門分野からテーマを設定し、講演・解説していただく方式としました。

- ・10月13日(木)[1日目]
病理学講座 向所 賢一 准教授
「胃食道逆流症って何！」
臨床検査医学講座 岡部 英俊 教授
「癌の病理診断について」
- ・10月20日(木)[2日目]
地域周産期医療学講座
高橋 健太郎 特任教授
「お産と子宮がん ―自分の遺伝子を次世代に残す―」
- ・10月27日(木)[3日目]
臨床看護学講座(小児)
桑田 弘美 教授
白坂 真紀 助教
「子育て・孫育てとしつけ」

滋賀県立河瀬中学校の生徒が本学を訪問

H23.10.25

10月25日(火)に、滋賀県立河瀬中学校の3年生7名(男子5名、女子2名)が、先生引率のもと、本学を訪問し見学を行いました。

同校は併設型の中高一貫教育校で、その特色を生かし進路学習の一環として、生徒が早期に3年後の進路目標を自覚することで、将来のビジョンを描き、高校生活の一層の充実を図りたいと考え、医学部に興味のある生徒による本学訪問を計画されたとのことです。

生徒たちは、本学到着後、学生で賑やかな福利棟食堂で昼食後、解剖学講座(神経形態学部門)・相見准教授の「医学部の向こうに何がある？」と題した説明や学内各所の案内に興味深々でした。講座カンファレンス室とB講義室での説明、生理薬理実習室での医学科2年実習の見学、顕微鏡実習室での顕微鏡とバーチャルスライドの体験、講座実験室でのラットの臓器見学等、工夫を凝らした案内先に当初予定の1時間を30分以上超過してもまだまだ物足りない様子でした。



相見准教授のカンファレンス室での説明

第37回解剖体慰霊式

H23.10.27



出席者全員による献花が行われました

10月27日(木)午前10時から本学体育館において、ご遺族、ご来賓、しゃくなげ会会員及び教職員・学生約600名の参列の中、厳かに第37回滋賀医科大学解剖体慰霊式を執り行いました。このたびは系統解剖36霊、病理解剖35霊、法医学解剖82霊、計153霊を新たにお祀りし御霊のご冥福をお祈りしました。

慰霊式は、出席者全員で御霊に黙祷を捧げ、諸霊芳名拝誦、馬場学長及び学生代表による慰霊の辞、高橋しゃくなげ会理事長の献辞、出席者全員による献花が行われました。

最後に、ご遺族代表のご挨拶及び、本学教授代表として解剖学講座の工藤教授から挨拶があり、厳かな内に閉式となりました。

第27回滋賀医科大学公開講座(3日目)を開催

H23.10.27

10月27日(木)に、第27回滋賀医科大学公開講座(10月13日開始、毎週木曜日、3週連続、計3日間)の3日目を草津市立まちづくりセンターで開催しました。

最終日となる今回は、看護学科・臨床看護学講座(小児)の桑田 教授と白坂 助教のお二人に講師を担当いただき、「子育て・孫育てとしつけ」と題し、ご自身の体験等も織り交ぜながら、具体的に解説・講演いただきました。

受講の方は多くはありませんでしたが、皆さん、熱心に聴講され、育児やしつけについて理解を深めていただけた様子でした。

また、最終日ということで、恒例により3回のうち2回以上受講いただいた方々に修了証書をお渡ししました。代表の方には、生涯学習支援室長の田中教授から渡していただきました。



講演の様子

平成23年度滋賀医科大学学生表彰

H23.10.29



受賞の大学院生



受賞のハンドボール部3人



ヨット部代表の受賞スピーチ

10月29日(土)、第37回若鮎祭開会式終了後に中庭水上特設ステージで、滋賀医科大学学生表彰の表彰式を挙行了しました。

今回、表彰を受けられたのは、平成22年9月から平成23年8月までの間に優れた実績、評価を得た10の個人及び団体です。また、博士課程の大学院学生によるポスター発表会の評価結果に基づく「優秀ポスター賞」の授与がこれに先立ち行われました。受賞者には馬場学長から表彰状と副賞の目録が授与されました。

受賞者	受賞理由
男子バレーボール部	第7回日本医歯薬大会 優勝
水泳部 高田 真央	第63回西日本医科学生総合体育大会 女子200M個人メドレー優勝
ハンドボール部	第63回西日本医科学生総合体育大会 優勝
ハンドボール部 満田 雅人	第63回西日本医科学生総合体育大会 ハンドボールにおいてMVPに選出
ハンドボール部 上林 翔大	第63回西日本医科学生総合体育大会 ハンドボールにおいてベストキーパー賞に選出
陸上競技部 林谷 俊和	第63回西日本医科学生総合体育大会 砲丸投 優勝
アカペラサークル (食後3錠)	全国563グループが参加した予選を勝ち抜き、フジテレビの全国ネットの音楽番組「ハモネブ」に本戦決勝15組のひとつとして出演し、最終4組にも選出され、滋賀医科大学の名を全国に知らしめた。
ヨット部	第63回西日本医科学生総合体育大会 470級 優勝
医学科第5学年 野田 晶子	第1回アジア太平洋合同PBL会議2010の「Students' Perspective(学生の視点)」領域で、口頭発表した演題: Removing Barriers to More Effective PBL が優秀な発表として表彰された。
国際保健 地域医療研究会 TukTuk	東日本大震災直後から、多くの部員がボランティア活動を行い、所属学生以外の本学学生ボランティアの調整役も行い、また、災害に関する学習会を開催し、この活動はマスコミ等にもとり上げられた。

体験授業を実施

H23.10.29



服部副学長の挨拶

保護者を含めて
73 名の方がご参加

本学では毎年学園祭(若鮎祭)の日程に合わせて、高校生を対象に大学の授業を体験していただき、医学や看護学に関心を深めていただきたく平成15年度より開催しております。今年は去る10月29日(土)に、放射線部 高橋病院教授を講師に「身体の中を覗いてみよう: 画像診断の現在」というテーマで体験授業を開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて73名の参加がありました。参加者の中には遠く関東や九州から足を運ばれた受講生もおられ、大盛況でした。

講義の中では放射線科医の仕事内容、レントゲン写真・造影検査・IVR・CT・MRI・画像診断などさまざまな診断方法の実態、放射能や被曝の問題などのテーマが挙げられました。そして各テーマの講義の中で時々先生から受講生に質問する方法がとられ、回答にはターニングポイントが使用されました。

ターニングポイントの使用により、先生の訊ねた問題への受講生の回答が、画面上にグラフ化されて映し出され、講義は大いに盛り上がりました。受講生からは「スイッチを押して授業に参加することで、より興味をもつことができました」「私たちも参加できるクイズみたいなものもあってとてもよかったです」という感想が寄せられ、受講生参加型の授業に多くの方が満足している様子でした。

また、講義終了後のアンケートでは、その他にも「レントゲン、CT、MRI、造影検査など、名前だけしか知らなかったことを、詳しく知ることができてさらに興味がわきました」「原発問題が話題になっているので、放射能と放射線の話が興味深かった」「放射線科のこと以外にも、これからの社会のことや、医者になる志を教えてください、とても勉強になりました」など数多くの感想が寄せられ、大好評でした。

第37回「若鮎祭」(学園祭)を開催

H23.10.29-30

10月29日(土)と30日(日)の両日に第37回若鮎祭が開かれました。

今年度は「絆(きずなり)」をテーマとしてメインステージでの様々な企画、サブステージも設置し、体育館、食堂でもアロマキャンドル作りや美容ブース、教室を使ったプラネタリウム、プラパン作りなど盛りだくさんの企画が行われました。フィナーレでは花火を使った感動的な演出がされるなど盛大に行われ、終了いたしました。



中庭の模擬店



ステージの様様

糖尿病協会月輪会で恒例の「あるこう会」を開催

H23.10.30



ウォーキングで心身の
リフレッシュ

10月30日、滋賀医科大学 糖尿病協会月輪会で恒例の「あるこう会」が開催されました。

今年は、月輪会員とご家族、またスタッフからは医師・看護師・栄養師・リハビリテーション科・事務を含め幅広い分野より 22 名が参加しました。軽運動をとり入れることで、心身のリフレッシュをはかることを目的に、滋賀医科大学を出発点に文化ゾーンからふれあい広場一帯をめぐる初心者コース(約 3.5km)と、名神高速道路の上を渡り一里山の瀬田公園体育館をめざし、アップダウンの道を行く健脚コース(約

7km)の2コースにわかれ、それぞれのチームが秋の風景を楽しみつつ無事、滋賀医科大学へ帰着しました。約2時間のウォーキングの後は、栄養治療部がたてた献立による昼食会でさらに親睦を深めました。また、ウォーキングの前後で血糖値の違いがあるかを測定しました。

入会ご希望の方には内分泌代謝・腎臓内科外来入会申込書があり、問い合わせの電話番号は 077-548-2223(内分泌代謝内科医局・月輪会事務局あて)です。

外国人留学生及び外国人研究者等の宿泊見学バス旅行を実施

H23.11.03-04

去る 11 月3日(木)及び4日(金)の2日間、“富士山を見に行こう”をテーマとして、愛知・静岡方面へ外国人留学生及び外国人研究者等の宿泊見学バス旅行を実施しました。服部副学長、相浦国際交流支援室長らの引率のもと総勢 23 名が参加しました。

初日は、今年3月にオープンした JR 東海のリニア・鉄道館(名古屋市港区金城ふ頭)と、東海道広重美術館(静岡市清水区・由比宿本陣跡)を見学しました。宿泊したホテル(三保の松原)では、温泉を楽しみ、また夕食後の懇親会では「ふじのやま(文部省唱歌)」

をみんなで歌いました。

2日目は、まず、日本平から待望の富士山を望みました！(残念ながら、季節はずれの暑さで、少し霞んでいました)その後、焼津さかなセンターで市場見学とショッピングを楽しみ、帰途、蒲郡オレンジパークでみかん狩りを体験しました。

今回のバス旅行は、これまで留学生から希望の多かった富士山を見、また、古来からの日本の大動脈「東海道」に想いを馳せた見学旅行となりました。



記念撮影

平成23年度 研究動物慰霊式

H23.11.08



研究動物慰霊碑



献花

11月8日(火)午後3時から、滋賀医科大学研究動物慰霊碑前において平成23年度の研究動物慰霊式を執行了いました。

慰霊式には、副学長をはじめ 109 名が出席し、出席者全員による黙祷を行った後、動物生命科学研究センター長の鳥居隆三教授、利用者会議議長の相見良成准教授より慰霊の辞が述べられました。

その後、出席者全員による献花が行われ、過去一年間(平成22年10月～平成23年9月)に実験に供された動物の御霊の冥福を祈りました。

「第6回 基礎・臨床融合の学内共同研究発表会」を開催

H23.11.14



質疑応答の様子

平成23年11月14日(月)に、第6回基礎・臨床融合の学内共同研究発表会を大会議室で開催しました。

今回の研究テーマは「薬効・薬物動態研究の最前線～シトクロム P450 と UDP-グルクロン酸転移酵素発現系を用いた迅速な薬物代謝解析の臨床応用～」で、司会・進行は生命科学講座の佐藤浩教授が行い、研究発表は学内共同研究を行っている以下の3名の研究者により行われました。

・丸尾 良浩 小児科 講師
演題「グルクロン酸転移酵素ファミリーの共通エクソン変異が薬剤のグルクロン酸抱合に及ぼす影響」

・寺田 智祐 薬剤部 教授
演題「個の薬物療法を目指した臨床薬理学アプローチ」

・生城 真一 生命科学講座 客員准教授(富山県立大学工学部工学科准教授)
演題「シトクロム P450 と UDP-グルクロン酸転移酵素発現系を用いた迅速な薬物代謝解析の臨床応用」

各研究者の発表後の質疑応答では、実験の内容及び方法、特許出願等についての熱心な質問や提案があり、活発な研究発表会となりました。

膳所高校との高大連携による今年度の最終講義

H23.11.14

11月14日(月)に、今年度が4年目となる膳所高校との高大連携事業による本学での講義(基礎医学講座)の最終日を迎えました。

今年度は、4月25日を1回目に約7か月をかけて計8回シリーズ(他に、夏休み期間中に一日の実習が1回)で実施されました。

服部副学長と膳所高校の淵田学校長から、この講義で掴んだ知識や疑問を抱いたことなどを更に発展させ、将来に活かしてもらいたいと、改めて激励のご挨拶をいただいた後、同校の卒業生でもある臨床看護学講座(ク

リティカル)の遠藤教授に、「大腸癌治療の最前線」と題した講義を実施いただきました。

「腫瘍とは? がんとは?」という基本的なことから、外科医として活動されている実際の医療現場での最新情報までの広い内容をわかりやすく解説いただきました。生徒たちは、専門用語に多少戸惑いながらも、興味深く聞き入っていました。

5年目となる来年度も、引き続き、充実した高大連携事業が展開されることが期待されます。



遠藤教授の講義

第1回 SUMS MUSIC FESTIVAL を開催

H23.11.16



軽音バンドによる熱演



11月16日(水)～11月18日(金)までの間、クリエイティブモチベーションセンターにおいて第1回 SUMS MUSIC FESTIVAL を管弦楽団、軽音楽部、アカペラサークルの文化系音楽系の課外活動団体が合同で開催します。

初日の16日の18:20からの開会式で服部副学長の挨拶により、第1回目となるこの催しが華やかに始まりました。

平成23年度滋賀医科大学防災訓練を実施

H23.11.17

自らの安全を確保し、迅速に防災体制に移行するための一連の対応行動を身に付け、附属病院における患者さんや学生、教職員等の生命身体の安全確保を図るとともに、防災意識の高揚を図ることを目的に、11月17日(木)に滋賀医科大学防災訓練を実施しました。

本年度は、災害時参集訓練として、午前7時に琵琶湖西岸を震源とする震度5強の地震発生を想定した、勤務時間外緊急時通報連絡網による連絡、災害対策本部の設置及び本部要員参集、並びに附属病院職員出動の各訓練を早朝より行い、また、地震防災訓練として、午後2時30分に琵琶湖西岸断層帯で発生した震度7の直下型地震発生を想定した、地震発生時安全確保、災害対策本部設置、患者・学生等避難誘導、負傷者の応急処置及びトリアージ、初期消火、自衛消防隊出動、被災状況通報等の各訓練を総合的に行いました。

また、災害対策本部においても、事前に知らされていなかったトラブルの報告、対処要請があり、従来にない緊

張のうちに訓練を実施することができました。

さらに、訓練の最後には、消防署職員の指導による、実際の消火器を用いた操作体験を本学グラウンドにて行い、消火器の仕組みや使い方、使用上の注意等について理解を深めました。

【災害時参集訓練の概要】

- 1) 緊急時通報連絡網による連絡訓練(管理棟大会議室)
- 2) 災害対策本部の設置及び本部要員参集訓練(管理棟大会議室)
- 3) 附属病院職員出動訓練(附属病院各病棟等)

【地震防災訓練の概要】

- 1) 消防・避難誘導訓練(2C病棟)
- 2) 負傷者応急処置・トリアージ訓練(附属病院玄関)
- 3) 学生避難訓練(一般教養棟講義室)
- 4) 緊急災害資材搬送訓練(防災倉庫→附属病院玄関)
- 5) 各部署の被災状況通報訓練(学内全部署)
- 6) 大学構内の被災状況確認訓練(構内各駐車場)
- 7) 消火器操作体験(グラウンド)



消火訓練



負傷者応急処置・トリアージ訓練

医学部合同新技術説明会が開催されました

H23.11.18



展示会場

本学・旭川医科・浜松医科・札幌医科・金沢医科・関西医科・産業医科・久留米・福岡・聖マリアンナ医科の医学部と JST(独立行政法人科学技術新興機構)の主催で、11月18日(金)東京・市ヶ谷の JST ホールで、医学部合同新技術説明会が開催されました。

本説明会は、大学研究者が企業関係者を対象に実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・共同研究パートナーを募るものです。

本学からは、外科学講座(消火器外科)山本 寛講師が「アディポネクチンによる新しい敗血症の治療法の開発」と題して研究内容を発表致しました。

この説明会の参加企業 60 余社は、大学発のライセンス可能な技術説明に、熱心に聴きいりました。その後、発表者と聴講した企業との情報交換の場が持たれました。

市民の健康と栄養を考える会「健康長寿を目指す食生活」を開催

H23.11.19

11月19日(土)、67名の参加者のもと、公開講座『市民の健康と栄養を考える会「健康長寿を目指す食生活」』を開催しました。

当日は、講師として金沢医科大学糖尿病内分泌内科 古家 大祐教授を招き、「長寿遺伝子をONにするにはカロリーを30%制限すると良い」「長生きの秘訣は腹八分で、従来のごはん食を基軸とした日本型の食生活の重要性」、「魚食のすすめ」、「減塩」、

「食物繊維の多い野菜から食べる」、「色とりどりの野菜を食べる」「ゆっくり食べるなど」といった内容の講演が行われ、参加された方々は、熱心に聴講されていました。また、最後の総合討論では、イオン飲料の飲み方についての注意点、健康食品の効能についてのエビデンスなど、あふれる健康情報についての選択方法についても討議されました。



総合討論の様子

第4回 JST イノベーションフォーラム in 滋賀を開催

H23.11.24



鳥居教授 成果報告

平成23年11月24日(木)立命館大学 BKC ローム記念館で、JST 採択課題の中から医工連携に関連した研究開発課題についての成果発表会が、滋賀県内研究機関により行われました。

本学からは、動物生命科学研究センター鳥居隆三教授が、平成22年度採択課題 A-STEP フィージビリティスタディ【FS】ステージシーズ顕在化タイプ

の研究責任者として「医科学研究用移植免疫寛容型カニクイザルの生産と供給体制の整備」について、成果発表を行いました。

この発表会には、近畿地区の大学・企業の研究者や行政関係者等多数参加し、成果発表を興味深く聴講するとともに、活発な質疑応答が行われました。

ERATO(戦略的創造研究推進事業)における「斎藤全能性エピゲノムプロジェクト」について、(独)科学技術振興機構理事等の表敬訪問

H23.11.25

平成23年11月25日(金)に、斎藤通紀京都大学大学院医学研究科教授を研究総括とするマウスやカニクイザルをモデルとして生殖細胞の発生機構を解明し、新たなエピゲノム制御技術の開発を目指す「斎藤全能性エピゲノムプロジェクト」が平成24年度から5年間行われることとなり、本学動物生命科学研究センター鳥居隆三教授が研究グループリーダーとして参画するに際して、(独)科学技術振興機構(JST)からERATOプロジェクトの趣旨及び協働実施体制等について説明及び意見交換が行われました。

この表敬訪問には、JSTから眞峯隆義理事、黒木敏高研究プロジェクト推

進部長、金子博之研究プロジェクト推進部調査役、米澤崇礼プロジェクト担当、京都大学から斎藤通紀教授、滋賀医科大学から馬場忠雄学長、服部隆則理事、鳥居隆三教授、福井浩司研究協力課長が出席しました。

ERATO事業は、プロジェクトについて厳しい審査を経て1年に4~5件しか採択されないもので、日本の科学技術の将来を見据えた研究を行う大型プロジェクトです。

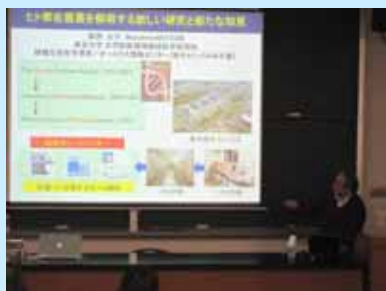
JSTからは滋賀医科大学がカニクイザルを用いた研究において世界的拠点になるよう期待する旨の発言等活発な意見交換が行われました。



意見交換会

「第7回 基礎・臨床融合の学内共同研究発表会」を開催

H23.11.29



服部教授の講演

平成23年11月29日(火)に、第7回基礎・臨床融合の学内共同研究発表会をB講義室で開催しました。

今回の研究テーマは「腸内細菌研究の最先端」で、司会・進行は大学院医学系研究科(高次調節系専攻・感染応答・免疫調節部門(消化器免疫))の安藤朗教授が行い、研究発表は以下の2名の研究者により行われました。

○小幡 徹

外科学講座 特任准教授

演題「新規エンドトキシン測定法ESP法について、その原理と実際ーそれで何が測れるか?ー」

○服部 正平 東京大学大学院新領域創成科学研究科情報生命科学専攻 教授

演題「ヒト常在菌叢を解明する新しい研究と新たな知見」

小幡特任准教授は、平成22年12月2日開催の第2回基礎・臨床融合の学内共同研究発表会において発表された当該研究から今回までの研究の進展を含めての成果発表を行い、服部教授は、腸内細菌に関わる最先端の研究発表をされ、参加した研究者は興味深く聞き入り、更なる基礎と臨床の融合された研究が期待されるものとなり、大変有意義な研究発表会となりました。

クリスマスイルミネーション点灯式を行いました

H23.11.30

附属病院では、玄関前のスペース等を利用して「クリスマスイルミネーション」を設置しています。この催しは看護広報活動推進委員会が中心となって、毎年実施している季節行事で、患者さん、地域住民の方々、病院スタッフに大変親しまれています。今年は東北大震災へも考慮して、節電を意識したLEDライトによるイルミネーションを多く取り入れました。

初日となる11月30日の午後5時から、患者さんやご家族にもお集まりいただき、柏木病院長らによる点灯

式を行いました。10秒前からのカウントダウンの声にあわせて点灯ボタンが押されると、幻想的なイルミネーションが一斉に浮かび上がり、大きな歓声と拍手がわきおこりました。

【期間】

平成22年11月30日(水)～

平成22年12月25日(日)

【点灯時間】16:30～22:00

【場所】

滋賀医科大学医学部附属病院

(正面玄関噴水前)



正面玄関のイルミネーション

第55回滋賀医科大学管弦楽団定期演奏会

H23.12.03

12月3日(土)18:00より、栗東芸術文化会館さくら大ホールにて、本学卒業生 岩井一也 氏(音楽監督)の指揮により、第55回滋賀医科大学管弦楽団定期演奏会が実施されました。

演奏会では、ドヴォルザーク 交響曲第七番、ブラームス 悲劇的序曲、ハチャトゥリアン「仮面舞踏会」より1, 3, 5番が演奏されました。

当日は、満員に近い来場があり、大盛況の中で行われました。また、開演前にはロビーにてミニコンサートも行われました。



演奏会の様子



大盛況な演奏会となりました

附属病院 院内クリスマスコンサートを開催

H23.12.14



演奏の様子

12月14日(水)5時から附属病院6階食堂において、院内クリスマスコンサートが行われました。

これは、本学卒業生の野澤正寛先生とその同志により毎年実施している、今年で10回目となる恒例の患者様向けのコンサートです。

今年は、附属病院の看護部、事務部を挙げてのバックアップを頂き、看護師さん、事務職員等による多くの車いす患者様の付き添い、サポートがあ

ったおかげで150名以上の過去最大の来場者となり、用意したパンフレットが足りなくなるといううれしい誤算もありました。

「ここは病院ということを忘れられるひと時を」という主催者の意向のもと、クリスマスソングや「川の流れるように」が披露され、また、「マル・マル・モリ・モリ！」では飛び入りの子どもさんたちとのダンスがあり、最後には「ふるさと」を来場者全員で合唱し、涙される方もみうけられるような感動の中でコンサートは終了しました。

滋賀医科大学医師会特別講演会を開催

H23.12.21

滋賀医科大学医師会主催により、東日本大震災における福島第一原発事故発生をきっかけとする特別講演会を、本学臨床講義棟2階 臨床講義室3において開催しました。

講師に、前本学医学部附属病院長で、現在は医仁会武田総合病院長としてご活躍の森田陸司先生をお招きし、「放射線の人体への影響 福島第一原発事故 一混乱した情報にどう対処するべきかー」をテーマに

①放射線用語の説明

- ②放射線の人体に及ぼす影響
- ③放射線防護—ICRP の考え方
- ④福島第一原発事故
- ⑤放射線環境汚染対策

の順で、専門的な視点から、体系的にわかりやすくご講演をいただきました。

講演会では、本学の教員、医師、看護師、コメディカル職員や事務職員に加え、滋賀県医師会等の学外からも多数参加があり、共に熱心に耳を傾け、理解を深めました。



講演の様子

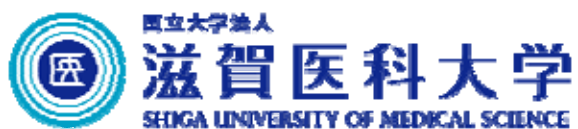
平成 24 年 1 月～3 月の行事予定

1 月 14・15 日 大学入試センター試験

2 月 25・26 日 一般選抜試験

3 月 9 日 卒業式

大学概要



所在地：
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
1974年10月1日

活動内容：
教育・研究・診療

役員：
学長 馬場忠雄
理事（教育等） 服部隆則
理事（医療等） 柏木厚典
理事（経営等） 村山典久
理事（総務等） 谷川成美



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012 FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 23 年 10 月～平成 23 年 12 月)

教育関係

2011/12/24	産経	がんプロ養成プラン継続が必要
2011/12/15	京都	「イグ・ノーベル賞」先生が来た わさび臭噴霧 “刺激的授業”
2011/12/11	京都	教えて「イグ・ノーベル賞」先生
2011/12/10	中日	看護管理能力向上へ 滋賀医科大 実践コースを設置
2011/12/09	日経	経営の視点持ち看護事業所管理 滋賀医大が新コース
2011/12/09	京都	高度な看護管理者育成 滋賀医大 専門職コース開講
2011/11/17	読売	国立大学実務評価 全 90 法人が「合格点」
2011/11/10	読売	滋賀短大に医療秘書課程 来年度新設 電子カルテ演習など
2011/11/07	毎日	ボランティア単位 国立大の 4 割認定
2011/11/03	毎日	秋の叙勲受章者
2011/10/28	朝日	滋賀医科大学若鮎祭講演会
2011/10/28	京都	国立大学の全法人中期目標「順調」
2011/10/15	毎日	「医療秘書」養成校に認定 滋賀短大 近畿で唯一
2011/10/15	京都	医療秘書養成課程 滋賀短大に開設へ
2011/10/15	中日	医療秘書課程を新設 来年度から 滋賀短大で、近畿で初
2011/10/15	朝日	滋賀短大に認定医療秘書養成講座
2011/10/07	京都	滋賀医科大学公開講座受講生募集
2011/10/07	朝日	治験推進説明会

研究関係

2011/12/17	朝日	動脈硬化の予防に大きく関わる食生活
2011/11/21	京都	ビール腹 ビールのせいじゃありません 飲む量と腹囲無関係
2011/11/09	毎日	わさび災害報知機でイグ・ノーベル賞
2011/10/12	読売	ビール腹 ビールのせいじゃありません 飲む量と腹囲無関係
2011/10/05	朝日	「わさびのにおい」火災報知機でイグ・ノーベル賞
2011/10/05	読売	わさび臭で「イグ・ノーベル賞」ツーンと涙の受賞秘話
2011/10/05	産経	「被験者の実験参加うれしい」
2011/10/05	中日	「いつかノーベル賞を」イグ・ノーベル賞 受賞の今井氏ら会見
2011/10/01	産経	「コソコソ研究し成果」イグ・ノーベル賞受賞の今井講師 上司・山田教授祝福
2011/10/01	読売	がん診断方法や子育て 滋賀医大が公開講座 13 日から
2011/10/01	中日	わさび臭の火災警報装置でイグ・ノーベル賞
2011/10/01	産経	日本人 7 人「イグ・ノーベル化学賞」
2011/10/01	朝日	日本の 7 人イグ・ノーベル賞

病院関係

2011/12/29	毎日	ペプチドワクチン 来春から臨床試験
2011/12/29	京都	ペプチドワクチン療法 滋賀医大が導入
2011/12/29	中日	来年度の国事業 新がん療法臨床御試験
2011/12/09	毎日	「住民、医師の支え合い必要」地域医療充実を

2011/12/04	読売	病院の実力 47 遺伝子カウンセリング
2011/12/04	京都	医師と住民の協力議論 大津地域医療テーマに集会
2011/11/29	毎日	現場からの記者レポート 「医師確保」にめど
2011/11/29	NHK NEWS WEB	温熱化学療法で胃がん生存率上昇
2011/11/12	中日	どうなる東近江市立蒲生病院
2011/10/09	産経	模擬手術 低コスト実現 立命大など開発 滋賀医大導入へ
2011/10/07	産経	第27回滋賀医科大学公開講座
2011/10/07	中日	市立前提の病院必要 野洲の検討委 結果を市長に提言
2011/10/06	朝日	野洲病院形態 具体案示せず 検討委 「市出費やむなし」提言
2011/10/06	京都	市立病院の新設望ましい 野洲病院在り方委員長言
2011/10/02	読売	病院の実力 薬で進行遅らせる
2011/10/01	朝日	除細動器不具合 輸送後に男性死亡 低温でショート、原因

社会連携

2011/12/26	京都	貧困連鎖脱出へ学習支援シンポ
2011/12/09	朝日	肝臓病教室 13日
2011/11/25	産経	滋賀医科大学公開講座「肝硬変について」
2011/11/22	京都	滋賀医科大学公開講座「肝臓病教室」
2011/11/11	朝日	市民の健康と栄養を考える会
2011/10/30	京都	がん患者が利用できる社会サポート紹介教室
2011/10/25	京都	がんの痛みマネジメント教室
2011/10/25	読売	第6回大津市医師会市民講座
2011/10/21	京都	抗がん剤の副作用マネジメント教室
2011/10/20	京都	肝臓病教室「非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)について」
2011/10/18	読売	第27回滋賀医科大公開講座受講生募集
2011/10/14	産経	第27回滋賀医科大学講演会
2011/10/14	産経	間脳下垂体機能障害医療講演会
2011/10/14	朝日	間脳下垂体機能障害医療講演会
2011/10/12	京都	滋賀医科大学公開講座受講生募集
2011/10/08	京都	市民のためのうつ病講座
2011/10/07	朝日	クローン病医療・食事講演会
2011/10/04	京都	間脳下垂体機能障害医療講演会
2011/10/01	京都	「わさび火災警報」にイグ・ノーベル賞 湖国から2人受賞 祝福
2011/10/01	京都	滋賀医科大学公開講座受講生募集

その他

2011/12/20	京都	健康への道 疾病予防の取り組み
2011/12/09	朝日	ニッポン 人・脈・記 100万人のうつ? どうなっている脳の中
2011/11/19	日経	大津市長出馬 医師の東氏表明
2011/11/19	毎日	市長選 医師東氏が出馬表明
2011/11/19	京都	大津市長選 東氏が立候補表明
2011/11/19	京都	立候補表明の東氏が抱負 「福祉と医療の大津市に」
2011/11/19	朝日	医師の東氏、出馬表明
2011/11/19	読売	医師・東氏が立候補表明

2011/11/19	中日	大津市長選 東氏が出馬を表明
2011/11/08	読売	農業復興に一助に 菜の花プロジェクトネットワーク 東近江
2011/11/03	毎日	喜びの受章者.
2011/11/03	日経	秋の叙勲受章者
2011/11/03	朝日	秋の叙勲受章者
2011/11/03	産経	秋の叙勲受章者
2011/11/03	京都	秋の叙勲受章者
2011/11/03	読売	秋の叙勲
2011/10/30	京都	大津・草津「びわこ文化都市」 『知っている」半数